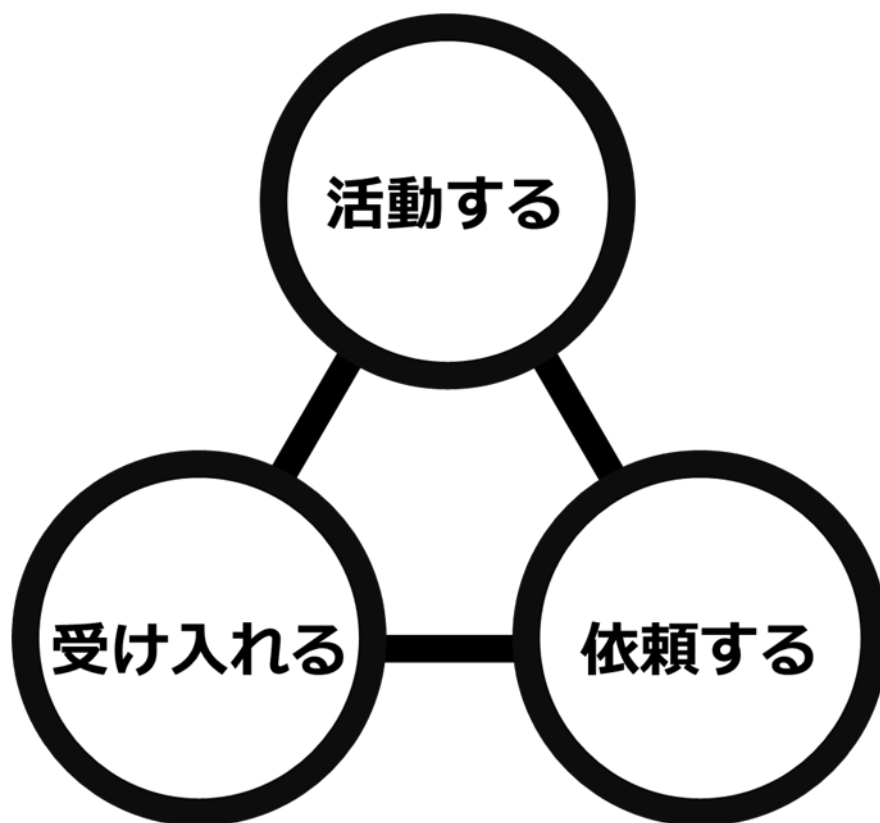


ボランティアに関わるすべてのひとへ

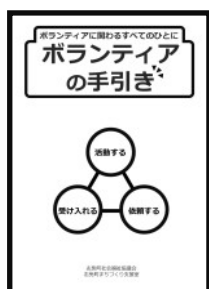
ボランティア の手引き



目 次

0. この冊子の活用方法	3
1. ボランティアに関わるすべてのひとへ	
1－1 ボランティア活動とは	4
1－2 さまざまなボランティア活動	6
2. ボランティアとして活動するとき	
2－1 ボランティアの活動パターン	8
2－2 活動の始め方・探し方	9
2－3 ボランティア活動のポイント	10
3. ボランティア活動を依頼するとき	
3－1 ボランティア活動者を理解する	12
3－2 依頼のポイント	13
3－3 依頼のしかた	14
4. ボランティアを受け入れるとき	
4－1 受け入れの意義	16
4－2 受け入れのポイント	17
4－3 ボランティア担当者の役割	17
5. よくある質問	18
社会福祉協議会とまちづくり支援室の役割	20

0 この冊子の活用方法



この冊子は、ボランティアの理解が広がり、活動環境がよりよくなることを目指し、志免町社会福祉協議会と志免町まちづくり支援室が協働で作成しました。ボランティア活動をする人、依頼する人、受け入れる人などが、ボランティアについて共通の認識をもつきっかけになればと思います。

○ ボランティアの基礎を学ぶ



初めて活動を始め人、初めてボランティアと関わる人は、まずボランティアがどんな活動なのかを知りましょう。この冊子では、ボランティアの基礎について学ぶことができます。

○ 活動の場をよりよくするために



活動する人、依頼する人、受け入れる人、それぞれの立場や活動に関わる意義を知り、相手を尊重し対等な関係を築くことで、互いが気持ちよく活動できる環境を整えることができます。

○ さまざまな立場や場面で活用できる



ボランティアについての基礎知識や、活動の場をより活発にするためのポイントを掲載しています。初めて活動に関わる人が基礎を学ぶテキストとして、ボランティアを依頼する・受け入れる際の参考として、新メンバーへの説明資料としてなど、さまざまな場面で活用していただきたいと思います。

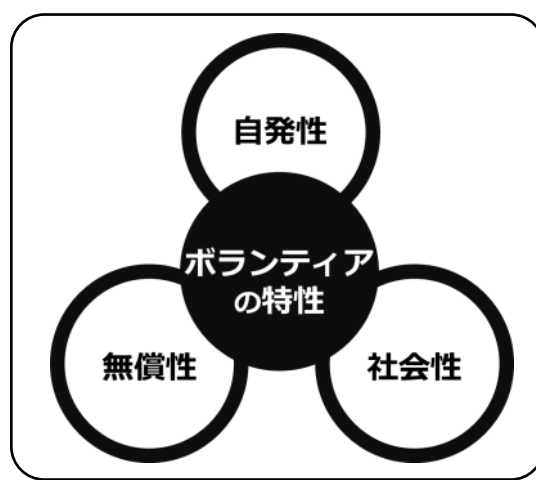
1 ボランティアに関わるすべてのひとへ

1-1 ボランティア活動とは

ボランティアの語源は、ラテン語のVolo（ウォロ）だと言われています。その意味は、「意思」「自ら進んで行う」などです。ボランティア活動は、自分の意思で、地域や社会をよりよくするために行う活動です。

○ ボランティア活動の特性

ボランティアは、幅広い分野で、さまざまな年代や考え方の人が活動していますが、すべての活動に共通する大切な性質があります。



(1) 自発性

誰かに強制されたり、義務として行ったりするのではなく、自分の意思で始める活動です。誰かに誘われた場合でも、「やりたい」「やってみよう」と自分で決めることが大切です。

(2) 無償性

自分から活動に対する見返りを求めない活動です。活動に必要な材料費や交通費などの実費を受け取ること、また依頼する側が実費を弁償することは、無償の範囲と考えられます。

(3) 社会性

自分のためや、限られた人々のためではなく、不特定多数の人や地域・社会のために行う活動です。社会の課題に対する個人の関心がきっかけでも、活動を通して他の人と関わりができ、社会性の高い活動へと変化していくこともあります。

○ ボランティア活動の特長

ボランティア活動には、仕事やアルバイトとは違う魅力があります。活動の特長を知り、楽しんで活動することが大切です。

誰でも始められる



年齢や性別、立場に関わらず、誰でも、いつでも、自分が関心がある分野で始められるのがボランティア活動です。

資格や経験はいらない



専門的な内容を除き、基本的に資格や経験は必要ありません。ボランティア活動を通して専門的な分野に関わることもできます。

活動の魅力は人それぞれ



ボランティア活動で得られるものは多くあります。人とのつながりや、大切な居場所、感謝の言葉など、何がやりがいにつながるかは人それぞれです。

創造性豊かに



組織の枠にとらわれず、目の前の課題を解決するために、自由な発想やアイデアを大切にして活動できるのがボランティア活動です。

1-2 さまざまなボランティア活動

ボランティア活動は、地域や社会の課題解決や生活の豊かさを目指す活動です。ここで紹介するのは一例であり、他にも課題に気づいて動いた数だけ、さまざまな分野で活動が展開されています。

○ 福祉ボランティア



高齢者支援

- 病院・高齢者施設内ボランティア
- 傾聴ボランティア
- 在宅ホスピスボランティア



障がい児・者支援

- 病院・障がい者施設内ボランティア
- ガイドボランティア
- 手話通訳、要約筆記
- 点訳・音訳
- 日用品、衣類などの製作
- おもちゃ図書館



子ども・子育て支援

- 保育ボランティア
- 読み聞かせボランティア
- 学習支援ボランティア

○ 趣味・特技を活かしたボランティア

- パソコン
- 手芸、おもちゃドクター
- 囲碁、将棋
- レクリエーションボランティア
- 演奏、演芸、茶道、書道

○ まちづくりボランティア

- 地域緑化活動
- 清掃活動
- 街並み・建物保全活動
- 地域おこし
- 観光ボランティア

○ 芸術・文化・スポーツボランティア

- 地域文化の継承・育成
- 各種催しの開催
- スポーツ教室における指導

○ 環境保全ボランティア

- 河川・街の美化活動
- リサイクル活動

○ 災害ボランティア

- 防災・災害救援ボランティア
- 募金活動、物資・備品などの寄付

○ 地域安全活動ボランティア

- 交通安全活動
- 地域の犯罪予防

○ 国際交流ボランティア

- 日本語・外国語ボランティア
- 交流行事の企画・運営

○ 資格・経験を活かしたボランティア

- 理美容師免許を活かしてカットボランティア
- 経理経験を活かして団体の会計

○ イベントボランティア

- オリンピックボランティア
- 各種催しのお手伝い

○ 収集ボランティア

- 使用済み切手、ベルマーク、プルタブ、ペットボトルのキャップ
- 募金・寄付活動

② ボランティアとして活動するとき

2-1 ボランティアの活動パターン

ボランティア活動は一人で活動することも、仲間と一緒に活動することもできます。自分に合った活動パターンを選びましょう。

○ 団体やグループの活動に参加する



やりたい活動が決まっていて、すでに団体やグループがある場合は、その会員になって活動することができます。すでに仕組みができていますので始めやすく、仲間がいるので助け合いながら活動できます。

○ 個人で活動する



団体に所属せず、一人で活動することができます。イベント補助など単発の活動や、特技を生かして演芸披露に行くなど、自分と活動先の予定を調整しながら活動できます。

○ 仲間と団体やグループをつくって活動する



まだ誰も活動していない、新たな課題に気づいたときなどには、同じ想いを持つ仲間と団体やグループをつくって活動を始めする方法があります。団体の作り方は、社会福祉協議会やまちづくり支援室に相談できます。

2-2 活動の始め方・探し方

ボランティア活動を始める方法や探す方法はいろいろあります。自分で調べることができますし、情報が集まる場所に相談することもできます。

○ 自分で調べる



インターネットで検索すれば、多くのボランティア募集情報が出てきます。また、ボランティア団体主催のイベントや広報誌から活動を知ったり、チラシ、新聞、雑誌などの募集記事を見て関心をもったりすることがあります。

○ 社会福祉協議会やまちづくり支援室で探す



ボランティア活動を支援する組織には多くの情報があり、相談に乗りながら一緒に探したり、見学や体験の調整ができたりする場合があります。社会福祉協議会では、毎年さまざまなテーマでボランティアに関する講座を開催しています。

○ 既存の活動に参加する



見学や体験を受け入れている団体もあります。自分に合った活動を見つけるために、一度活動の様子を見てから参加を検討するのも良いです。不安なことがあれば、見学や体験のときにいろいろな話をきくことができます。

○ 新たに活動を立ち上げる



特技や専門性を活かしたい場合や、新たに社会的な課題に気づいた場合は、自分で始めることができます。団体・グループの立ち上げについては、社会福祉協議会やまちづくり支援室に相談することをおすすめします。

2-3 ボランティア活動のポイント

○ 活動するにあたって

ボランティアは社会的な活動です。人と接したり、人に影響を与えたりする活動ですから、活動をするうえで気をつけることや、守るべきルールがあります。

約束を守る

一度参加すると決めた活動には責任を持って取り組みましょう。やむを得ず、時間に遅れたり急に欠席する場合は、必ず連絡を入れましょう。

相手の立場になって考える

良かれと思って行動したことが、必ずしも相手が求めていることではない場合があります。相手がどうしてほしいのかを考えながら活動しましょう。

安全に配慮する

自分や相手がけがをしないように、物を壊さないように気をつけましょう。ボランティア活動に適用される保険もあります。

分からないことは相談する

分からないことや困ったことがあれば、活動現場の責任者や一緒に活動しているメンバーに相談しましょう。もし言いにくいことがあれば、社会福祉協議会やまちづくり支援室にも相談できます。

やりがいを感じながら活動する

ボランティア活動のやりがいは人それぞれです。自分なりのやりがいを見つけ、楽しく活動を続けましょう。

継続することで効果があらわれる

活動の多くは、継続的に関わることで課題の解決につながります。継続して活動するためには、体調やプライベートなども大切にし、無理をしすぎないことが重要です。

○ ボランティア活動における守秘義務

ボランティア活動中に知り得た個人情報は、第三者に漏らしてはいけません。個人情報とは、氏名や生年月日などの直接個人を特定できる情報の他、複数組み合わせることによって個人の特定につながる情報も含まれます。第三者とは、本人と、活動を実施している組織以外のすべての人をさします。

相手の気持ちを尊重する

何より大切なのは、相手の気持ちです。相手は、あなたを信頼してくれたからこそ話してくれたのかもしれませんが。あなたが些細に感じることであっても、相手は他の誰にも知られたくないと思っているかもしれません。

相談する人に気をつける

個人情報に関係する内容であっても、判断に困ったり、受け入れ組織に知らせた方がいいと感じたときは、一人で抱え込まず相談しましょう。その場合、本人の家族やボランティア仲間ではなく、受け入れ組織の担当者に相談するようにしましょう。

相談する場所に気をつける

相談するときは、第三者が出入りする場所での相談は避けましょう。玄関や廊下ではなく、個室で話すなどの配慮を心がけましょう。

③ ボランティア活動を依頼するとき

3-1 ボランティア活動者を理解する

ボランティアは、自分の意思で、自分たちにできることを、人や社会を良くするために活動する人たちです。安心して、やりがいを感じながら活動できる環境が整うことで最大限の力を発揮することができます。また、依頼者と良い関係が築かれることで次の活動へのモチベーションが高まります。

○ プロではない



活動者の中には、活動内容に関する資格や経験を持つ人もいますが、そうではない人もいます。ボランティア活動が初めてという人もいます。専門的なクオリティとは別のところにボランティアの魅力があります。

○ 仕事ではない



ボランティアは仕事ではありません。依頼すれば必ず応えてもらえるものではありません。あくまでプラスアルファであることを前提に、ボランティアが来ることでどんな良い影響があるかを考えましょう。

○ 無料の労働力ではない



「人手が足りないから、お金がないから、ボランティアに依頼する」という考えではボランティアの力を最大限に引き出すことはできません。ボランティアに依頼することは思いのほか労力がかかります。それでもあえてボランティアに依頼する意義を考えましょう。

3-2 依頼のポイント

○ 依頼前の準備が重要



ボランティア活動を依頼する前に、依頼内容をしっかり考えましょう。活動の目的・日時・場所、活動内容、依頼人数だけでなく、交通手段や駐車場の確保、謝金、準備物など、できるだけ詳しく、準備や説明をすることで、ボランティア活動者は参加しやすくなります。

○ ボランティアの無償性の範囲



無償性とは、見返りを求めないこと。活動への対価や報酬を目的としないことであり、完全な無料とは異なります。活動に伴い必要な交通費や昼食代、材料費などの実費弁償は無償の範囲とみなされます。活動を継続するためには、依頼を検討する際に費用について考えておく必要があります。

○ 早めに依頼する



活動内容によっては、活動者が集まらないことや、見つからないことがあります。企画内容を見直したり、別の方法を考えたりする時間を確保できるよう、早めに依頼することが大切です。

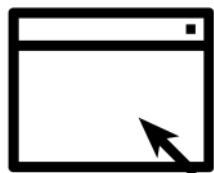
3-3 依頼のしかた

○ ボランティア活動を依頼する方法



ボランティアを依頼する方法はいろいろあります。依頼したい人物像、活動内容、人数などにより、依頼方法を選択しましょう。

自分で依頼する



知人への声かけや、チラシを作成し回覧板や掲示板で募集する方法、インターネットで募集する方法、ボランティアが集まる場所へ説明しに行く方法などがあります。

もともと関係ができている人への声かけは、活動者も依頼側も安心して活動できるメリットがあります。チラシやインターネットでの募集は、大人数を集めたい場合に有効ですが、活動の説明や調整などを丁寧に行い、コミュニケーションをとるように気をつけましょう。

社会福祉協議会やまちづくり支援室を通じて

社会福祉協議会やまちづくり支援室には、活動者や団体の情報があり、募集内容や条件をヒアリングしたうえで活動者をつなぐ『コーディネート』機能があります。また、情報発信のサポートや、ボランティア依頼、ボランティア受け入れについてのアドバイスも行っています。自分で依頼する方法と併せて活用することで、よりよい活動環境づくりができます。

○ 依頼の流れ

ボランティア依頼の流れと、各項目のポイントをおさえておきましょう。



依頼内容を整理する

活動の目的・日時・場所、詳しい活動内容、募集人数、謝金などを事前に考えます。



依頼方法を考える

どんな人が必要なのかを考え、依頼方法を選びます。



依頼する

一ヶ月半前を目安に、早めに依頼します。チラシでも募集する場合は、作成期間を含め、より早めに取りかかる必要があります。



返答する

応募や問い合わせがあった場合は、必ず返答しましょう。条件が合わず活動につながらない場合にも、丁寧に対応することで関係を築くことができます。



事前に打ち合わせをする

活動者が決定したら、当日までに打ち合わせをしましょう。活動内容の確認だけでなく、活動時のルールやお互いの活動に対する思いなど、より細かい部分の共有をしておくことで、トラブルの防止につながります。



受け入れる

詳しくは次ページからの「4.ボランティアを受け入れるとき」をご覧ください。

④ ボランティアを受け入れるとき

4-1 受け入れの意義

施設が依頼して受け入れる、活動希望者を団体が受け入れるなど、さまざまなボランティアを受け入れる場面があります。基本的な活動は受け入れ側の組織で行うことを前提に考えましょう。さらにボランティアの協力を得ることで、受け入れ側だけでなく活動者や地域にとっても、どんな良い影響があるかを考えておきましょう。

○ 受け入れ側のスタッフにとって



組織外の人であるボランティアからアイデアをもらうことで活動の質の向上につながります。またボランティアを通じて施設や団体への理解が社会へ広がるきっかけになります。

○ ボランティア活動を受ける相手にとって



施設利用者などの場合、ボランティアとの関わりを通じて施設職員や家族以外の社会との関わりが広がる、活動によって困りごとが改善するなど、生活の充実につながります。

○ ボランティア活動者にとって



ボランティア活動に参加することで、自分自身の学びや成長の機会を得ることにつながります。また、人や社会に貢献することで、充足感や達成感、やりがいを感じます。

○ 地域社会にとって



ボランティア活動が活発に行われることで、地域福祉の推進や住民によるまちづくりが進展します。それにより住みよい地域になったり、社会課題の解決につながったりします。

4-2 受け入れのポイント

ボランティアは、自分の意思で、自分にできることを、人の暮らしや社会を良くするために活動する人たちです。プロではなく、仕事ではなく、無料の労働力ではありません。ボランティアが最大限の力を発揮するには、受け入れ側の理解と準備が重要です。

○ なぜボランティアが必要なのか？を考える



活動のどの部分に、どんな役割で、ボランティアが必要なのかを考え、組織としての受入方針や目的を明確にします。

○ 事前に打合せをする



活動日時、場所、内容、交通機関、準備物、必要な費用などを事前に打合せすることで、当日の活動を安心して行えます。

○ お互いの連絡先を交換し合う



急に予定が変更になることがあります。万が一の場合に備え、お互いに緊急連絡先を確認しておきましょう。

○ 当日のサポートとアフターフォロー

ボランティアに任せっきりでなく、しっかりとサポートやフォローをして、有意義な活動となるようにしましょう。

4-3 ボランティア担当者の役割

ボランティアを受け入れる際は、ボランティア担当者を決めましょう。担当者は、ボランティアとの連絡調整や、当日の活動説明、困ったときの相談役などを行います。ボランティアを理解し、サポートする担当者がいることで、安心して活動できます。また、組織内での受け入れ体制作りも重要な役割です。担当者が組織内でボランティアへの理解を広めることで、活動が継続しやすい環境が整っていきます。

5 よくある質問

① ボランティアは保険に加入できますか？

① 保険に加入できます。

ボランティア活動に適用される保険にはいろいろな種類があり、活動者が自身にかける保険や、受け入れ側が一日の活動にかける保険などがあります。社会福祉協議会では「ボランティア活動保険」や「ボランティア行事用保険」に加入できます。

◎ ボランティア活動のリスクマネジメント

活動者は、自身がけがをしたり、相手にけがをさせたり、物を壊したりしないよう、適した服装や体調に気をつけ活動しましょう。依頼する側や受け入れる側は、活動場所や内容、使う道具などからけがの可能性を考え、安全に配慮しましょう。

② ボランティア活動の服装は決まっていますか？

① 動きやすく汚れてもいい服装が基本です。

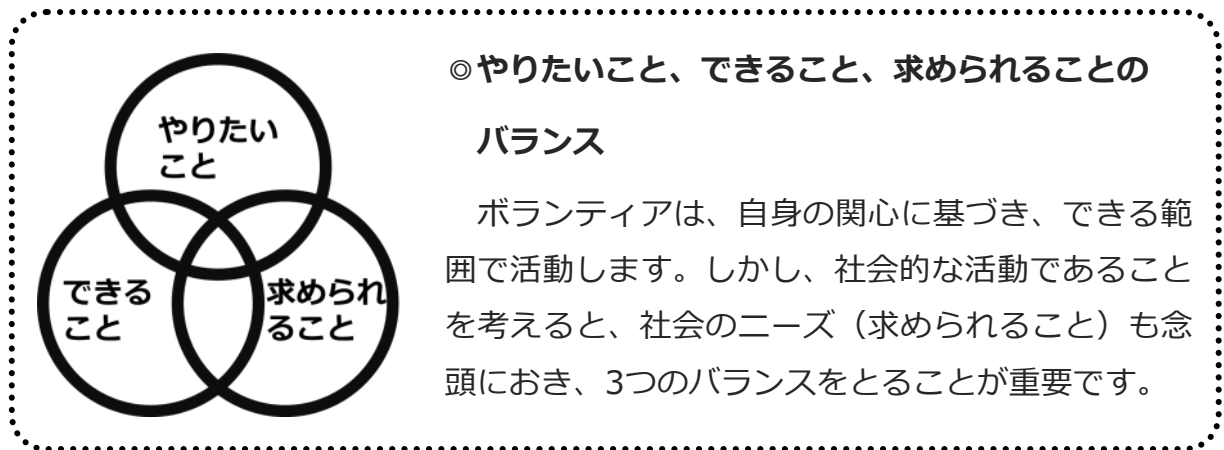
下記は一般的な例です。活動内容によって適した服装は異なるため、活動前に活動者と受け入れ側で確認しましょう。

- ・ 髪：邪魔になる場合は束ねる。
- ・ 服：動きやすく汚れてもいい服が基本。露出が多い服やスカートは避けましょう。エプロンなどが必要な場合もあります。
- ・ 靴：動きやすい運動靴で活動します。かかとが高い靴や脱げやすい靴はけがの原因になることがあります。スリッパや長靴が必要な場合もあります。
- ・ 爪：活動前に切っておきます。相手にけがをさせる場合があります。
- ・ アクセサリー：つけないことが基本。けがや紛失でトラブルのもとになることがあります。

② 「自分のためにやっています」と言うボランティアはいいの？

① **A** 「結果的に自分のためにもなる」という可能性はあります。

他者のための活動が、結果的に自分のためにもなっていることは考えられます。始める動機やきっかけは問われませんが、不特定多数の人のため、地域や社会のため、といった公益的な目的のもと活動する姿勢が大切です。



② ボランティアにお金は準備した方がいいですか？

① **A** 可能な範囲で構いません。

ボランティアは見返りを目的に活動しているわけではありません。しかし、活動に伴い交通費や食事、材料費などの手出しが発生する場合、継続が難しくなることがあります。下記を参考に、実費弁償などの対応を考えてみてはどうでしょうか。

◎ 一般的なボランティアの範囲

すべて自己負担する「完全手弁当」や、活動に伴う交通費・食費などを受け取る「実費弁償」など。

◎ いわゆる有償ボランティアと言われる範囲

最低賃金よりも低い対価や、相場よりも低い謝礼を受け取る「対価の授受」

社会福祉協議会とまちづくり支援室の役割

社会福祉協議会とまちづくり支援室は、どちらもボランティア活動に関する相談ができる場所です。活動に関する情報がほしい、活動を始めたい、活動が続ける中で困りごとが出てきた、ボランティアを依頼したい、ボランティアとの関わり方に困っているなど、さまざまな相談に対応します。

主な機能



◎相談…ボランティア活動に関する相談窓口

◎勉強会や交流会…活動に役立つさまざまなテーマで講座や勉強会を開催する他、情報交換や横のつながり作りを目的とした交流会なども実施

◎コーディネート…ボランティア活動希望者と受け入れ者をつなぐ

◎情報収集・発信…活動に関するさまざまな情報を収集し、広報誌・フェイスブック・館内掲示などで発信

○ 志免町社会福祉協議会

目的

地域の住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関の協力を得て福祉のまちづくりをめざす民間の団体です。

特長

- 福祉分野に特化した組織で、専門的な知識とノウハウを活かし、地域福祉の推進に関する事業を行っています。地域福祉の重要な担い手であるボランティア活動者の発掘・育成、ボランティアをする側・受け入れる側のコーディネートを行っています。
- 福祉関係ボランティア団体で結成された「志免町ボランティア連絡協議会」とその所属団体に対し、支援を行っています。

- 志免町におけるボランティア活動や地域福祉活動を行う団体に対して、その活動を支援するために助成金を交付します。
- 個人ボランティア・団体ボランティア登録制度があります。
- ボランティア活動中のけがや事故を補償するボランティア活動保険など、ボランティアに関する保険への加入手続きができます。

○ 志免町まちづくり支援室

目的

住民活動（ボランティア活動を含む）の自律を支援し、協働のまちづくりを推進することを目的として、平成21年に志免町が設置した施設です。

※協働のまちづくりとは

「立場や行動が異なる主体が、共通の公益的目的・目標の達成に向けて、対等な関係となるように責任と役割を分担し、相互に努力し地域課題解決の成果を出す」という「協働」の理念に基づいたまちづくりのことをいいます。

特長

- 活動分野を問わず、ボランティアを含む住民による活動を幅広く支援しています。活動の自律支援を基本とし、ボランティア活動を取り巻く環境の整備に取り組んでいます。
- 団体の人材確保、資金確保、広報強化など、組織基盤や運営体制を整えるための相談にも対応しています。
- 団体同士や、他組織（行政、企業など）との協働連携を支援しています。
- 会議室や打合せスペース、印刷機などの利用ができます。 ※要団体登録

ボランティアに関わるすべてのひとへ ボランティアの手引き

発行

発行日：平成31(2019)年 3 月31日

社会福祉法人 志免町社会福祉協議会

所在地：福岡県糟屋郡志免町大字志免451番地1

連絡先：092-937-3011

サイト：<http://www.shime-shakyo.or.jp/>

志免町 まちの魅力推進課（まちづくり支援室）

所在地：福岡県糟屋郡志免町志免中央一丁目3番2号

連絡先：092-936-8626

サイト：<http://www.town.shime.lg.jp/site/kyoudou/>

編集

NPO法人 ミディエイド

参考文献

ボランティアガイドBOOK（発行：よこすかボランティアセンター）

はじめてのボランティア（発行：全国ボランティア・市民活動振興センター発行）

応援します！あなたのボランティア活動！！（発行：埼玉県ボランティア・市民活動センター）

ボランティア受け入れハンドブック

（発行：施設ボランティア検討会 西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター）

※この冊子の全部または一部を販売することを禁じます